

次世代の情報共有基盤システムNetCommons(ネットコモンズ)  
ホームページ + グループウェア + 会員制サイト + eラーニング + ポータルサイト



net commons

3



QRコードを読み込むことで、このパンフレットに載っている  
デモサイトに触れることができます。  
実際に操作しながら、**NetCommons**を体験してみてください。



# 「NetCommonsって何?」

NetCommonsは、  
ワンストップサービス。  
1つのシステムで、  
ホームページだけでなく  
いろいろな目的で  
活用できるんだにゃ!

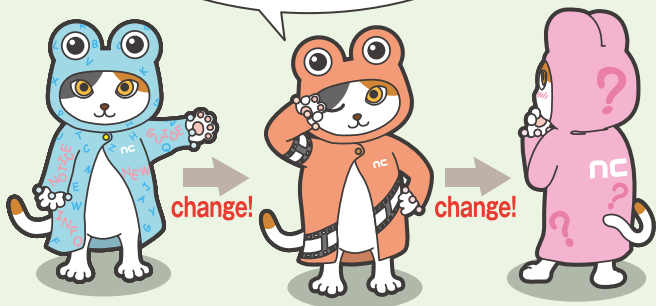


特に学校で使われており、  
**5000**以上の  
導入実績があるにゃ!

国立情報学研究所が開発・保守するオープンソース・  
ソフトウェアだから安心。  
教育環境・職場環境などをより良くカエル!



ITライトユーザでも、デザイン、プラグインを  
自由に安全にカスタマイズできて、便利。  
見た目、使い勝手をカエル!



さらに、「レスポンスデザイン」を採用。  
スマートフォンやタブレットなど  
どんなスクリーンサイズでも自動的に最適化!  
見やすくわかりやすいサイトになったにゃ!



# NetCommons

## ホームページ/ ポータルサイト

NetCommonsなら、いつでもどこ  
でもメールを書く程度の手間で、追加  
修正が可能。しかもサイト更新作業を  
それぞれの役割に応じて分担できる  
点が魅力です。  
また、多種多様な情報を集約したポ  
ータルサイトの実現も得意です。



## グループウェア/ 会員制サイト

NetCommonsは、ホームページや  
ポータルサイト等の一般公開用ス  
ペースだけでなく、IDを発行したメン  
バーだけが利用できる非公開スペース  
も持っています。  
ここに複数のバーチャル会議室を構築  
し、指定したメンバーがそれぞれの目的で  
利用できるよう設定することができます。



## eラーニングサイト/ 動画サイト

動画・文書ファイルの共有や、自動採点  
機能付き小テストなどを設置し、特定メン  
バーに向けたオンライン研修を実施  
できます。  
時間と場所の制約を受けず、受講者の理  
解度に応じた学習の場を提供すること  
により、知っておいて欲しいことを徹底  
できます。

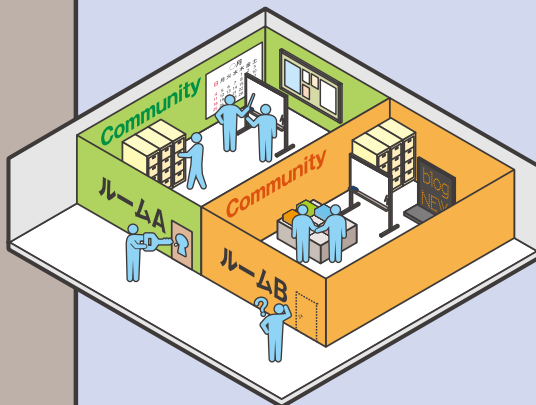
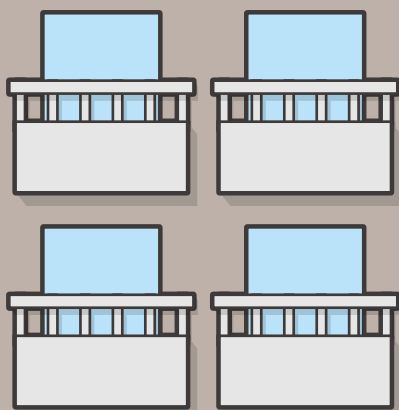


# の持つ柔軟性と機動力

NetCommonsが組織で安全に使える理由

## スペース/ルーム

### Private

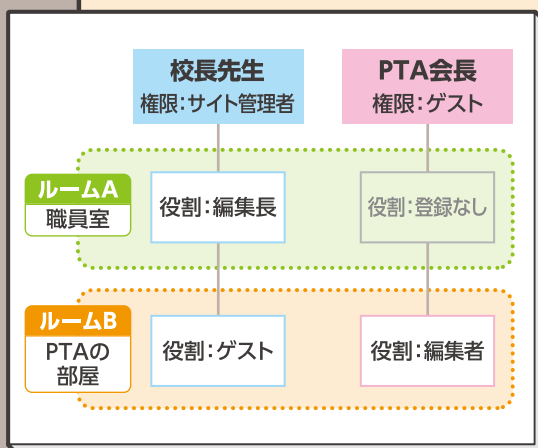
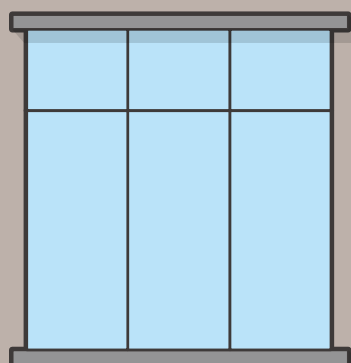


NetCommonsには「パブリック」、「プライベート」、「コミュニティ」の3つの階層があります。「パブリック」は公開スペース、「プライベート」はIDを持つ本人のみに表示されるスペース、「コミュニティ」は登録メンバー限定で表示される非公開スペースで、ログインしなければ閲覧することができません。

「ルーム」を設置することができるのは「パブリック」と「コミュニティ」のスペースです。「ルーム」を設定することで、**誰に何をどこまで**許可するのか細かく「役割」を決めることができます。例えば、「パブリック」に「ルーム」を設定すれば、そのルーム内でのみ指定するユーザに投稿を許可することができます。また、「コミュニティ」なら「ルーム」ごとに参加者を変えて非公開で情報を共有できます。

## 権限/役割

### Community

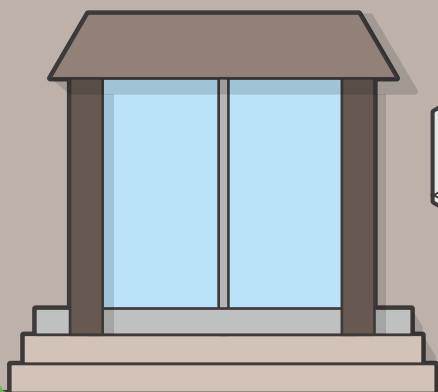


NetCommonsは、「権限」と「役割」を設定することで、「ルーム」ごとにユーザがアクセス可能な情報、機能、リソースを決めることができます。「権限」は個人情報取り扱いの範囲を決め、「役割」でページレイアウト編集や機能追加、他者の記事修正、投稿、閲覧を制限することができます。

これらの機能により、NetCommonsでは組織で安全に使うことができます。

## プラグイン

### Public



差し込む、差込口などの意味で、ITの分野では、ソフトウェアに機能を追加する小さなプログラムのことを指します。ブログ、掲示板、キャビネット、回覧板、小テスト、アンケート、登録フォームなど、NetCommonsは、ウェブ上での情報共有に必要なさまざまな機能が標準装備されています。

プラグインの設置、設定は専門知識不要。ITライクユーザも安全かつ手軽に情報共有の場を運営できます。

# の主要プラグイン

NetCommonsのプラグインは全部で**28種類**。  
目的別によく利用される主要なプラグインをご紹介します。

## 1 ブログ



毎日のできごとや連絡事項、広報したい情報などを配信するための機能を提供するプラグインが「ブログ」です。「お知らせ」に比べてコンテンツの配信・管理が容易なため、多くのNetCommonsサイトの「パブリック」で活用されています。日付順に自動表示され、投稿予約や承認機能などが標準装備されています。

## 2 お知らせ



「お知らせ」プラグインはサイト上に配置できるポスターのようなものです。画像や動画を挿入したり、文字に色をつけたり、大きくしたりする作業が、誰でもすぐに実行できます。NetCommonsならホームページのトップに緊急のお知らせをタイムリーに掲載するのも朝飯前です。

## 3 カレンダー



予定が書き込まれている日をクリックすると、予定の詳細が別窓で表示されます。地図やリンクの挿入もWYSIWYGエディタにより自由自在。また、NetCommonsの「カレンダー」は、どこに設置しても閲覧しているユーザの権限によって見せる内容をコントロールすることができます。

## 4 掲示板



アカウントを持つユーザが、情報を発信したり議論したりするために提供されているのが「掲示板」プラグインです。メール配信機能を設定して、メールマガジンとして活用したり、問題を親記事で出して、児童生徒に回答を子記事に書かせてeラーニングツールとしても使うなど、アイデア次第で多目的に活用できるプラグインです。

## 5 検索ボックス



NetCommonsの内部でやりとりされた情報について、キーワードを使って検索できるプラグインです。知りたい情報や話題の手がかりとなるキーワードを1つあるいはスペースをあけて、いくつか入力します。発言者のハンドル名や検索対象ルーム、いつごろの情報だったのかなど、細かく指定することもできます。

## 6 キャビネット



WordやExcel、PDF文書を始め、画像、動画など様々な形式のデータをNetCommons上で共有するためのツールです。「コミュニティ」に設置すればグループ内で複数の人と共有でき、ファイルを一元管理できます。また「プライベート」に設置すればUSBメモリー代わりに活用できます。

## 7 小テスト



オンラインでテストを課し、自動採点する機能が「小テスト」プラグインです。問題文に画像や数式などを挿入でき、複数選択式の問題を作成できます。また、過去の小テストを再利用して問題文を作成でき、繰り返し同じ問題を課することができるなど、オリジナルの問題を手早く設計可能。NC3では新たに問題をテンプレートから作成したり、回答時間の目安・合格点を設定できるようになりました。

## 8 アンケート



サイト上でアンケートを実施するためのプラグインです。NC3から、質問の回答によって次の質問を変える経路・分岐設定や表組み設問(マトリクス形式)の設定もできるようになりました。[集計結果]というリンクをクリックすると、回答内容が自動集計され、グラフ表示されます。管理者はCSV出力も可能です。

## 9 動画



動画を再生、変換するプラグインです。デジタルカメラやスマートフォンなど、様々な機器で撮影した多くの形式の動画ファイルをアップロードでき、PCやスマートフォンで再生できる形式に自動的に変換します。標準で対応している形式はmpeg、mpg、avi、mov、wmv、flv、mp4があります。



## 他にもいろいろ！ プラグイン

### 10 フォトアルバム

Web上にアルバムを公開したり、作成したアルバムを使ってプレゼンテーションができるツールです。

### 11 回覧板

指定したユーザ宛てに回覧板を回すことができ、作成者は全員の閲覧状況や回答などを確認できます。

### 12 TODO

やるべきタスクの一覧を表示するプラグインが「Todo」です。タスクの追加や進捗状況、重要度などの確認が行えます。

### 13 登録フォーム

ユーザから情報を収集するツールが「登録フォーム」です。お問合せや登録の受付などに利用できます。

### 14 FAQ

質問と回答が簡単に登録可能なので、手軽に「よくある質問」ページを構築することができます。

### 15 汎用データベース

書式（入力項目）を指定した記事投稿となるため、投稿者は記入漏れやレイアウト等の労力を省くことができます。

## 特定非営利活動法人 コモンズネット

コモンズネットは教育の情報化の推進を目的に設立された特定非営利活動法人です。コモンズネットは、NetCommonsの開発チームと共同研究を行っている団体を中心に構成され、NetCommonsの普及活動を行っています。主たる事業内容は下記のとおりです。

具体的には展示会や書籍等を通じてNetCommonsの普及を行ったり、セミナーや研究会を通じてNetCommonsのメンテナンス方法やハックに関するノウハウを民間企業に移転し、NetCommonsの健全な普及に心がけています。

NetCommonsの大規模導入をご検討の機関はぜひコモンズネットまでご相談ください。

- NetCommonsに関する各種セミナーの開催及び他関連団体との交流事業。
- 教育用オープンソースに関する調査研究、情報収集及び提供事業。
- 教育用オープンソースに関する出版物及び会報等の発行事業。
- 教育の情報化に関するソフトウェア等の企画・開発・販売。



コモンズネット問い合わせ窓口：staff@commonsnet.org  
コモンズネットサイト：www.commonsnet.org

## 「よくある質問」コーナー！



# 開発者インタビュー

## NetCommonsプロジェクト開発リーダー、国立情報学研究所 社会共有知研究センター長の 新井紀子氏に「NetCommons3の特長」についてお話を伺いました。



新井紀子

Noriko Arai  
国立情報学研究所  
情報社会相関研究系教授

**NetCommonsはその使いやすさから今や5000を超える教育機関やNPO団体、自治体、企業などに採用されています。**

**人気の秘密は何でしょうか？**

現在、テクノロジーは急速に進展しており、あらゆる分野でIT化が進んでいます。学校からの情報もインターネットからの配信が当たり前となった昨今、日常的に使うウェブアプリケーションソフトウェアは、「使いやすさ」と「安全性」が強く求められています。

NetCommonsは多くの学校や組織が必要とする機能を全て備えた「ワンストップサービス」です。これまでもITライ

ターユーザが安全に自在に使えるシステムとして人気でしたが、NC3では、時代のニーズに応えたレスポンシブデザインやこれまで以上に安全性と持続可能な仕組みを実現しています。

### NetCommons2から3へと、 開発が必要だった理由はなんですか。

実はこの5年ほど、ウェブサイトへの悪意のある攻撃が苛烈化しています。また、無償サービスを多角的に展開する巨大企業によるユーザのバンドル(囲い込み)競争が激化しました。こうした状況から、多くのオープンソースソフトウェアが数週間に1度新しいバージョンを出し、古いバージョンのサポートが次々切れていくという事態が起り始めています。新しいブラウザでは使えない、バージョンアップする度に動作検証に費用と手間がかかるなど、ユーザには大きな負担となっ

てきています。特に、外部に情報を渡すことが難しい公的機関やNPO団体などは、この問題をどう乗り切るのが大きな課題です。

そこで、NetCommons3には最新の方法ですべてのケースを網羅するテストコードを書いて、自動テストを実施すれば動作上の問題点を自動検出することができるようにしました。修正コードを入れた後にも自動テストを行うことで、素早い対応が可能。ソフトウェアを最新の状態にすることが、今後、安全安心を維持するために最も必要なこととなりますが、NetCommons3はそのための対策が万全です。

なお、NetCommons3からはシステムとサーバ、セキュリティやネットワークの管理は専門業者に任せ、サイト構築・運営は自分で行うことができるSaaSサービスが、NPO法人コモンズネットから提供される予定です。ユーザはバージョンアップやトラブルについて心配せずに利用することができます。さらにセキュリティレポートを提供(有償)します。NetCommonsは、OSなどの使用ソフトのバージョンが次々に変わっていても、システムや管理について自信がない方も、安心して使えます。

### NetCommons3はより安全安心に進化したということですね。 他にも変更されたところはありますか？

最近の小中学生の保護者は、情報を得る端末として、パソコンよりもタブレットやスマートフォンを多用しています。スマートフォンで閲覧できない学校ホームページは見られなくなりつつあります。そこで、NetCommons3ではレスポンシブデザインを採用することで、どんな端末でも同じように情報を閲覧できるようにしました。

### 最後にメッセージをお願いします。

ITの進化は激しく、日々変化していく世の中ですが、NetCommonsは常に最先端で、安心して使えるソフトウェアとして、みなさんのお役に立ち続けたいと思っています。

2017年2月6日談



### NetCommonsプロジェクトの軌跡

- 2005年 オープンソース・ソフトウェアとして一般公開
- 2007年 ユーザカンファレンスを一橋講堂にて開催  
The 10th IASTED International Conference on Computers and Advanced Technology in Education - CATE 2007 - で行われた3rd International Software Competition(第3回国際ソフトウェア競技会)にて最優秀賞を受賞
- 2009年 『私にもできちゃった! NetCommonsで本格ウェブサイト: ネットコモンズ公式マニュアル』出版  
情報処理推進機構(IPA)より2009年度日本OSS奨励賞を受賞
- 2010年 平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門) 受賞 業績名「NetCommonsによる学校および教育におけるICT普及啓発」 受賞  
『私にもできちゃった! NetCommons実践デザインカスタマイズ: ネットコモンズ公式マニュアル』出版
- 2011年 『私にもできちゃった! NetCommons実例でわかるサイト構築: ネットコモンズ公式マニュアル』出版
- 2012年 『私にもできちゃった! NetCommonsで本格ウェブサイト 第2版: ネットコモンズ公式マニュアル』出版
- 2016年 NetCommons3リリース



### 国立情報学研究所について

国立情報学研究所は、情報学という新しい学問分野での「未来価値創成」を目指すわが国唯一の学術総合研究所として、ネットワーク、ソフトウェア、コンテンツなどの情報関連分野の新しい理論・方法論から応用展開までの研究開発を総合的に推進しています。また、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に不可欠な最先端学術情報基盤(サイバー・サイエンス・インフラストラクチャ:CSI)の構築を進めるとともに、全国の大学や研究機関はもとより民間企業や様々な社会活動との連携・協力を重視した運営を行っています。

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 **国立情報学研究所** 社会共有知研究センター

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター

www.nii.ac.jp